

クマとのトラブルを防ぐために

平成 22 年 9 月 8 日(水) 群馬県環境森林部自然環境課

今年になりツキノワグマによる人身事故が6件発生しています。
6件の内4件は、親子グマが関係する事故です。
登山道、人家近くでのヤブ、林内作業中の遭遇など不意の出会いがその原因です。



「子グマを発見！！」＝あなたは危険な状況におかれています！

可愛いですが絶対近づかないようにしましょう！
必ず近くに親グマがいます。子グマに近づくと親グマに襲われる可能性が高まります。
子グマを発見したら可愛いと思わず、『危険な状況』と理解してください。
周囲の気配をうかがいながら、その場を離れましょう。

クマと出会わないために・・・

- 1 ラジオやクマ鈴など音の出るものを持っていきましょう。
人がいることをクマに知らせ、クマがこちらに来ないようにしましょう。
- 2 朝夕にはクマに出会いやすい時間ですから注意してください。
早朝や夕方はクマの活動が活発で食べ物探しに夢中です。ばったり出会う確率が高まります。
- 3 周囲に気を配りましょう。
山菜採りなどでは周囲の物音に注意しましょう。水流の激しい沢近くなどでは特に注意が必要です。
- 4 新しい糞や足跡を見つけた時は引き返しましょう。
近くにクマがいる可能性があります。速やかに引き返しましょう。
- 5 野生動物の住みにくい環境を作りましょう。(環境の整備)
耕作放棄地や山林のヤブ化など、人と野生動物の距離が非常に近くなっています。
人家周辺や通学路などは、見通しの良い環境づくりを進めましょう。

クマと出会ってしまったら・・・

- 1 あわてない
周囲に気を配り、クマを先に発見しましょう。発見しても決して慌てないで下さい。
とにかくじっと動かず、立ち去るのを待ちましょう。
また、遠くにクマがいる場合は速やかにそっとその場を立ち去りましょう。
- 2 騒がない
大声を出したり、物を投げつけたりするとクマが興奮して危険です。写真を撮影することも危険です。
- 3 走って逃げない
クマは逃げるものを追う習性があるので走って逃げるのはとても危険です。
クマの目を見つめず、荷物をその場において後ずさりしながら立ち去りましょう。